

FILM サイクル

フィルム撮影の伝統を守る

広島工業大(広島市佐伯区)には、広島県内でも珍しい、フィルムカメラで撮影し、プリントまでこなす「写真部」があります。部員は、部室の

暗室でフィルムを自ら現像し、紙焼きをします。フィルム撮影は、現像するまでどんな写真が撮れたか分からないわくわく感があります。また、モノクロ写真は、白黒の濃淡で魅力を伝える面白さがあります。これらを伝えようと、ずっと伝統を守っているのです。ミーティングは週1回。撮影会の日程を話し合ったり、展示会の内容を決めたりしています。

一方を後輩に指導し、見る人を引き付ける写真の撮り方を教えます。撮った写真は学年に関係なく見せ合い、意見交換をしながら技術を高めていきます。展示会は年に3回開きます。大学祭では、作品の展示に加え、来場者にカメラにまつわるクイズを出すなど、写真に興味を持ってもらう工夫を凝らします。現在、部員は2、3年生の計26人。本年度も多くの撮影会を企画し、部を盛り上げていきます。



尾道市で開催した撮影会(2月1日)



カラー、モノクロの写真が並ぶ展示会(2019年6月、広島市佐伯区)



部長の食品生命科学科・3年広重頼さん(20) 写真を撮る技術の向上と、たくさんの方に写真を見てもらおうのを目標に活動しています。本年度は、部員がより仲良くなり、積極的に意見交換ができるようにしたいと思っています。展示会では、通常のカラー写真に加え、モノクロ写真の迫力を感じてほしいです。

